

【LINE Pay】6/24より、LINEで東京ガスのガス・電気料金等の支払いをスタート

2021.06.24 Fintech関連サービス

業界初、LINE公式アカウントでガス・電気料金等の通知と支払いまで可能に
企業効率向上だけでなく、SDGs達成に向けた対策の一つであるペーパーレスにも貢献

LINE Pay株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長CEO：長福 久弘）は、昨年発表（※1）した、東京ガスのLINE公式アカウントを介して「myTOKYOGAS」（※2）と連携することで、月々のガス・電気料金等のメッセージ通知と「LINE Pay」での支払いが可能になるサービスを、2021年6月24日（木）より開始します。

※ 業界初：エネルギー業界として、LINE Pay調べ（2021年5月時点）。SDGs=Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

（※1）プレスリリース：LINE Payと東京ガス、払込書のペーパーレス化に向けた基本合意書を締結 <https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2020/3399>

（※2）東京ガスが提供するウェブ会員サービスで、毎月のガス・電気の料金や使用量等を確認することができる。



昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響は実に様々な領域に及んでおり、企業のDX推進やリモートワーク化による業務効率向上の重要度は増し、生活者の“非接触”サービスの利用拡大や環境問題・社会課題への関心度も拡大しています。その中でペーパーレスは、企業にとっても生活者にとっても関心度の高いキーワードとなってきています。

本日より提供を開始する本サービスは、紙の払込書で東京ガスのガス・電気料金等をお支払いいただいているお客さま向けのサービスです。東京ガスのLINE公式アカウントを介して「myTOKYOGAS」と連携し、「LINE Pay」での支払いの利用登録をさせていただくことで、東京ガスで対象のガス契約をお持ちのユーザーは、スマートフォンと「LINE」さえあれば、いつでもどこでもガス・電気料金等の確認や支払いが可能になります。

銀行口座振替やクレジットカードからの引き落としでなく、紙の払込書での支払いを選択される主な理由として、“支払い手続きの煩わしさ”、“月々の利用料金をしっかり把握したいという家計管理意識の高さ”、“自動的に引き落とされることへの漠然とした不安”などが挙げられますが、本サービスは、「LINE」から簡単に利用登録でき、請求金額をメッセージで確認した上で支払うことが可能です。また、事前にチャージした残高の範囲内で支払うプリペイド式も選択できます。

そのような紙の払込書同等の利点に加え、「LINE Pay」内の家計簿機能である「利用レポート」に自動的に支払った金額が記録されるため管理がしやすく、支払い期限が近づくと再度通知メッセージが届き、支払い忘れ防止も期待できるなど、「LINE」ならではの利便性も特長です。

【ご利用方法イメージ】



※画像はイメージで、実際と異なる場合がございます

LINE Payは、モバイル決済プラットフォームとして、お金の流通で生じる時間や手間、手数料など様々な摩擦をゼロにし、人とお金・サービスの距離を近づけてまいります。キャッシュレス・ウォレットレス社会において、モバイル決済の世界をリードする存在になることをめざします。

© LY Corporation